

平成30年度 体罰等実態把握調査について

1 調査の内容・方法

(1) 調査の趣旨

体罰の根絶に向けた取組を行うため、都内公立学校における実態を的確に把握する。

(2) 調査対象

区市町村立及び都立学校全 2,158校の校長、教職員、児童・生徒全てを対象に調査を行った。

(3) 調査内容

平成30年度に発生した体罰、不適切な指導、暴言等及び行き過ぎた指導(以下「体罰等」という。)又はその疑いのある事案について調査を行った。

(4) 調査方法

教職員・・・校長による聞き取り調査 児童・生徒・・・質問紙調査及び聞き取り調査

(5) 調査対象期間

平成30年4月1日(日)～平成31年3月31日(日)

2 報告数

(1) 学校別報告数

校種別の内訳	小学校		中学校		小計		高等 学校	特別支 援学校	都合計
	東京都	文京区	東京都	文京区	東京都	文京区			
学校設置数	1,280	20	624	10	1,904	30	192	62	2,158
本調査へ報告のあった学校数	117	3	120	4	237	7	47	10	294
本調査への報告数(単位:件)	197	5	201	4	398	9	109	20	527

義務教育学校については、前期・後期課程をそれぞれ小学校・中学校に区分している。

(2) 申告者別報告数 (単位:件)

校種別の内訳	小学校		中学校		小計		高等 学校	特別支 援学校	都合計
	東京都	文京区	東京都	文京区	東京都	文京区			
教員本人	63	2	67	2	130	4	42	4	176
他の教員	19	0	53	0	72	0	11	14	97
児童・生徒本人	107	1	123	2	230	3	72	10	312
他の児童・生徒	70	0	71	0	141	0	45	3	189
保護者	35	2	41	0	76	2	24	6	106
地域住民	1	0	1	0	2	0	1	0	3
合計	295	5	356	4	651	9	195	37	883

(注)一つの事案につき複数の報告があるため、(1)の報告数の合計とは一致しない。

3 報告の内容

【体罰の有無】

(※校数は延べ数)

分類		小学校				中学校				高 30年度	特 30年度	都合計	
		29年度		30年度		29年度		30年度					
		東京都	文京区	東京都	文京区	東京都	文京区	東京都	文京区				
①体罰	人数	3	0	7	0	10	0	8	0	8	0	23	
	校数	3	0	7	0	10	0	8	0	8	0	23	
②不適切な行為	ア 不適切な指導	人数	34	1	32	2	37	2	40	1	17	0	89
		校数	33	1	31	2	29	1	37	1	15	0	83
	イ 行き過ぎた指導	人数	2	0	2	0	4	0	3	0	1	0	6
		校数	2	0	2	0	3	0	3	0	1	0	6
ウ 暴言等	人数	43	3	26	1	60	0	60	0	14	2	102	
	校数	37	3	23	1	53	0	50	0	9	2	84	
③指導の範囲内	人数	80	0	57	2	49	3	50	3	27	15	149	
	校数	58	0	46	2	36	2	42	3	22	8	118	
合計	人数	162	4	124	5	160	5	161	4	67	17	369	
	校数	133	4	109	5	131	3	140	4	55	10	314	

4 体罰の根絶を図るための文京区教育委員会の取組

(1) 学校への指導

- ・合同校園長会及び小・中学校校長会での指導の徹底
- ・全校・園の管理職対象のヒアリング時に体罰根絶に向けた状況を把握し、指導の徹底について助言

(2) 教職員研修の充実

- ・7月を体罰防止月間として、全小・中学校において服務事故防止研修を実施
- ・中堅教員研修、若手教員育成研修における「服務に関する研修」の充実
- ・夏季休業日中におけるアンガーマネジメント研修の実施

(3) 東京都教育委員会の啓発資料の活用

